

充実の行事を終えて・・・

今回の学年通信は、中学校生活最後の行事を完全燃焼で終えたみなさんの作文を紹介します。

私はこの文化祭を通して集団の強さを感じました。集団とは「複数の人がいるけど一つにまとまっている」という意味だと思います。ただ単に人数だけを多くして歌っても感動などは生まれません。けれど、一人一人が決められた役割を果たして、一つの声となって歌うと、人数以上の素晴らしさ、強さが出てくると感じます。みんな大きい声を出せと言いますが、もちろん声は出た方が合唱としては圧倒できます。けれど本当に感動させられるのは、パートとパートどうし聞き合いながら歌うことで初めて感動させることができると思います。そういった面で集団の大切さ強さを学んだ合唱だと思いました。

作品などでは、学校のみんなで一から飾りだしたのを見て、「自分たちでもこんなにできるんだ」と感じました。一人一人の色や形、デザインなどが人によって違うのを感じました。それらの作品を見ていると、「十人十色とはこういうことか」と感じました。これからもこの経験を活かして高校や大学、社会人などでも活かしていきたいと思っています。

3年4組

《今後の予定》

11月

- 11月14日(木) 期末テスト(社・国・技家・学 給食なし)
- 15日(金) 期末テスト(英・理・数・保体・総・学)
- 20日(水) 6校時 IBA(英検調査)
- 29日(金) 研究発表会(笹トレ、3年3組:数学)

12月

- 12月3日(火) 音楽鑑賞会
- 6日(木)～8日(金) 三者懇談 (進路の最終確認をする三者懇談です)
- 9日(月)～11日(水) 三者懇談
- 25日(水) 終業式

【保護者の皆様へ】

2学期に入り、進路説明会に参加いただき、ありがとうございました。また、氏名等調査にも快くご協力いただき、ありがとうございました。予備懇談、三者懇談と学校にお越しいただく機会も増えますが、引き続きご協力いただけますよう、お願い致します。

生徒ら世界の課題考える 笹原中 災害や環境、解決策提案



伊丹市立笹原中学校伊丹市南野北の3年生がこのほど、自然災害や貧困など日本や世界の課題をグループごとに調べ、自分たちの解決方法を「笹原アクションプラン(SADP)」として授業で提案し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連も考えた。

生徒は10月、総合的な学習の時間を使って内容を模造紙にまとめ、同月25日の文化祭で発表。28日の学年集会で、他のグループの提案を見て感想をつづった。松田太陽さん(15)のグループは「プラスチックが海に流れ着いていること」を課題とし、余分なペットボトルを消費しないよう「マイペットボトル」を使うよう提案した。自然災害、とりわけ台風で多くの人が命を落とす現状に、幾谷涼葉さん(15)のグループは「防

災グッズを点検する。市が防災ラジオを配って情報が素早く手に入るようにして逃げ遅れをなくす」とまとめた。幾谷さんは「同じ自然災害でも避難所を近くにするなど、別の提案をしているグループがあつて参考になった」と話した。(中川恵)

SDGsの取り組みが 神戸新聞で紹介されました

グループの発表を見て、感想を書く笹原中学校の3年生＝伊丹市南野北2

「SDGs (エスディーゼズ)」とは

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で、世界のリーダーによって決められた、国際社会の共通目標です。



今年の文化祭は中学校生活で一番心に残る文化祭でした。

合唱コンクールでは、練習中、自分達の合唱を聞いて、もっとここはこうした方が良いなどの自分の意見を言い合ったり、分からない部分があると積極的に人に聞いたりしている人が多くいて、とても良い雰囲気練習に取り組んでいるなど感じていました。また、僕が少しうれしかったのは、「合唱練習なんか、やらんでいいやん」と言っていた人が、練習が始まると、できていない人に熱心にアドバイスをしてくれたり、男子全体に、「もっとこうした方が良い」などの的確な意見で合唱を改善してくれたことです。自分ももっと頑張ろうと思うことができました。

本番では、今まで練習してきたことを、発揮することができたと思います。緊張してしまい、男子と女子で少しズレてしまいましたが、やり切ったと感じることができたので、今までで一番良い合唱だったと思いました。結果発表の時、1組が金賞と言われた時は、うれしくて今まで頑張ってきた良かったと思いました。初めての金賞が1組で良かったです。

展示のSDGsでは、自分達が今住んでいる地球は、どんな問題をかかえていて、その問題を解決するために、自分達はどのようなことをしていかなければいけないのかを知ることができました。僕のグループは、環境について考えました。砂漠化や地球温暖化などの環境問題をどうしたら解決できるのか、アイデアを出すのが少し難しかったですが、グループになって意見を出し合って、1つのことについて考えるのは、とても楽しかったです。また、この文化祭で学んだSDGsを、高校入試での面接や、大人になって社会に出た時などに、活かせるようにしたいと思いました。

3年1組

まず、私が文化祭を通して思ったことがあります。それは、一人変わるだけで大きくまわりの見る目も変わるということです。特に実感したのは、合唱です。一人一人の表情で、真剣さが伝わり、一人一人の声の大きさと、熱意が伝わります。一年生、二年生と発表が終わり、三年生の番になった時、私は他学年の話し声に耳をかた向けました。「三年生はすごいらしいよ。」と楽しみに待つ顔を見て、期待されていることをじっかんしました。三組の合唱中、私はあることに気付きました。前のめりになって皆が耳をかた向けていると。合唱が終わると、大きな拍手と共に「すごかったね。」という声も聞こえました。私も母がとった三組の合唱の様子ビデオを見ましたが、ビデオごしにまで伝わる大きな声と、真剣な顔に感動しました。練習中はふざけていた男子も、声が小さかった女子も、今まで以上の歌を歌っていたと思います。それは、一人一人が意識して変わったからだと思います。残念ながら、賞をとることは無理でしたが、一人一人の意識は、三組が一番だったと思います。文化祭後は、部活動での引退をしました。「合唱、すごかったです。」とほめてくれる後輩に私は、「声、大きくてよかったでしょ。」と自信を持って言うことができました。一人が変わると皆も変わろうと頑張り、それを見た相手の評価もきっと変わるのだと今回の文化祭で気づき、実感することができました。 **3年3組**

今年の文化祭をまとめると今までで一番良い文化祭だったと思います。なぜなら練習の時からみんなで聞き合ったり、教え合ったりして協力して頑張ってきたからです。

はじめ私はソロのパートを歌う役割でした。しかし、あまり歌が得意ではなかったし、四人で歌うのが難しくなって、男女一人ずつの合計二人に変更しました。男子はもう一度決めなおすことになって、みんなは文句を言わずにいてくれていたけれど、内心はめんどくさいと思っていたと思います。でもそんな中で、立候補してくれた男子生徒にはとても感謝しています。そして音楽の授業以外での放課後練習の時はパートリーダーや指揮者、そして学年委員を中心に苦手なところなどを重点的に練習し真剣に取り組んでいました。私自身も歌が苦手で、音程などよく分かっていませんでした。でも近くで歌う人や、歌が上手な人の声を聞いて、少しずつ声を出していけるようになりました。みんなで協力して上達してくことができ、とても嬉しかったです。文化祭当日はとても緊張してしまい、歌もずれてしまいました。正直、賞は無理かなと思っていましたが、実際は銀賞でした。みんなで一致団結して取り組んだから賞がとれたのかな、と思いました。また歌い終わった後の達成感は、銀賞以上のものだと思います。このことから、どんなことに取り組むときも「これでいいや」とか「めんどくさい」など消極的な考え方をするのではなく、「もっとこうしよう」とか「がんばろう」などみんなで心一つに力を出しきることが大切だと分かりました。

このように「何事にも支え合いがこれからの世の中にも大切になってくる」と知ることができた文化祭でした。 **3年4組**

私のクラス二組では、結果にこだわり、練習、本番の合唱を本気で歌いました。ですが、結果的に賞を取ることができませんでした。全員が悔しいという気持ちで悲しみ、涙を流す人もいました。この文化祭を終えて私は学んだことがあります。

一つは、感情についてです。私たち全員が悔しかったのは、それだけ本気で取り組み金賞を望んだからです。

二つは、努力と結果についてです。今回の文化祭での二組のように、本気で努力しても、結果にでないこともあります。ですが、そのまま結果だけを受け取るのではなく、その悔しさや反省点を次の目標につなげることが大切だと感じました。

具体的に言うと、私の場合は受験です。文化祭の合唱練習では、移動時間やすき間の時間をあまり上手に使ったり、素早く行動することができませんでした。この反省を活かし受験勉強や学校生活では、授業をしっかり聞きその場で習得することや、休み時間を有効に使うなど効率的に時間を使いたいです。

まず努力をしなければ、結果はあられられません。結果は人一倍努力した人の中であられるかあられれないかだと思います。この言葉を忘れずに、自分を信じて残りの中学校生活を上手に送っていきたいです。 **3年2組**

今年の文化祭では、合唱コンクールが一番の思い出です。3年間で最後の合唱コンクールで、合唱をなによりもがんばりました。私は、アルトパートで、ソプラノやテナーに比べて授業での練習が少なく、難しいので人一倍練習をしないとついていけませんでしたが。音楽の授業が終わってから棕尾先生にわからない所の音程やリズムを聞きにいったり、家でアルトパートの動画を見て聴いたりして、自分なりに努力をしました。けれど、わからなくなって声が小さくなったり、テナーにつられて違う音程で歌ってしまったりと、あまりうまくいきませんでした。2週間前になって放課後の合唱練習が始まり、みんなで歌ってみると思ったより、うまく歌えて少し安心しました。パート練習の時は、音程が合っている子の声をよく聞きながら歌ったり、歌うテンポがはやくなりすぎないように、CDの音をよく聞いて歌ったり、周りの音を聞きながら歌う、ということ意識するようになりました。本番2日前の合唱練習から、一カ所だけテナーにつられて歌ってしまう部分があって、前までは歌えていたのに急にわからなくなって、自分ではわかっているつもりだけど、歌ってみるとまちがえてしまって、本番前の教室練習でアルトのCDを聴いて音をもう一度よく確認してから、本番に向かいました。そして、本番になって歌ってみると、去年よりは緊張しなかったけど足は震えていました。でもしっかりと歌うことができたのでよかったです。

午後の部で一番良かったのは、吹奏楽部の演奏です。今年が一番前の席で全員見渡せたとし、間近で見ると、迫力がすごくて、声がでないぐらいでした。ずっと聴いてきたけど、今年の演奏が一番心に残りました。吹奏楽部をずっと応援したいと思いました。中学校生活最後の文化祭が最高で終われてよかったです。 **3年1組**